

JR 富山駅ビル商業施設「MAROOT」の概要について

～「衣」・「食」・「住」を“まるっと”、そして“ちょっと上質な日常”を～

J R 西日本グループ 富山ターミナルビル株式会社（富山市桜町一丁目 1 番 61 号 代表取締役社長 水田 整）では、富山駅周辺地区土地区画整理事業地（通称：富山駅南西街区）において、2022 年春開業に向け商業施設の開発を進めてまいりましたが、この度、施設のアウトラインが固まりましたのでお知らせいたします。

【開業日】

2022 年 3 月 中旬（予定）

【施設名称】

MAROOT （ マ ル ー ト ）

戦災からの復興の象徴であり、富山駅ビルのルーツでもある「まると百貨店」へのオマージュを捧げつつ、富山の人々の暮らしに必要なものを「まるっと」揃え、地域の暮らしの「根底」（＝root）を支える役目を担い、「気軽に過ごせる毎日の居場所」を感じることができる商業施設を実現します。

※施設名称及びロゴの由来は 2021 年 3 月 22 日に発表しております。

https://www.westjr.co.jp/press/article/2021/03/page_17580.html

【店舗数】

約 75 店舗 （予定）

【施設コンセプト】

「理想の暮らしのアpartメント」

マルートは、富山の人々と地域に寄り添い、富山の人々が集い憩い、そして役に立つ施設と位置付けます。単に買物や用事を済ませるだけの場所ではなく、「日々の暮らしのステージ」として、「毎日の居場所」として、まるで水や空気のような存在として、地域の人々、駅を利用する人々の日常に溶け込み、特別ではない何気ない楽しみを、ともに創り、分かち合っていくことを目指します。これらを実現するために主に以下の 5 点に注力しています。

（１）「ちょっと上質なデ일리ライフ」

マルートは、富山の人々の暮らしを支える「衣」・「食」・「住」の充足、充実に最重点を置きます。これまで駅前エリアに不足していた日常性、必需性の高い商品やサービスを充足させるとともに、豊かで且つ堅実な富山の人々の嗜好に応える「ちょっと上質な日常」を取り揃えます。

（２）「ネイバーフッド」

マルートでは、人の活力・健康の源となる「食」、富山の誇りとする豊かな「食」を施設づくりの基盤と位置づけます。特に、地上フロアである１Ｆには、生鮮食品、スイーツや総菜、カフェ・バルなど日常の食関連ショップを大集積するとともに、「マリエとやま」、「とやマルシェ」、さらには近隣の施設・商店街などと合わせ、路上を歩きながら楽しめる「食」の一大空間づくりに力を注ぎます。また、４Ｆにも駅前広場を展望するレストラン街を設けます。マルートの半数程度が食に関連するショップとなります。

（３）「居る・過ごす・憩う価値」

マルートでは、「日々の暮らしのステージ」として特に「居心地」を重視します。各階に嗜好を凝らした憩いのスペース（通称「マイルーム」）を配すなど、ただ「居る」「過ごす」「憩う」価値を追求します。施設デザインにあたっては、特に、厳しい北国の風土ながら、自然と共生する感覚、また幸せな暮らしという観念の近さなど、富山との根源的な共通点が多いと感じられる北欧に学んでいます。単に流行りの意匠を真似るということではなく、そこに富山らしい解釈、アレンジを加えることで、マルートならではの楽しく充実した暮らしの場を実現します。



□ 2F マイルーム イメージ



□ 3F マイルーム イメージ

（４）「節気暮らし」のレコメンド

マルートでは、富山の四季折々の何気ない日常を楽しく豊かに過ごしてもらうために、季節ごと、さらには二十四節気ごとの様々な提案や行事を準備します。また、マルートの主役である各ショップの魅力、新商品や季節のお勧めを SNS や WEB、その他の手段を通じてタイムリーに発信し、富山の人々の日々の暮らしのお役に立ちます。

また、節気に応じたマルートとしての、あるいはショップ主体でのワークショップやイベントを定期的に行います。今後、地域の人々による参加型ワークショップを定期的を実施し、ワークショップで作成した作品を施設の装飾として展示するなど、「みんなでつくるマルート」と題して、富山の皆様に参加してもらう取り組みを行います。

（５）コンパクトシティを紡ぐ「ランドマーク」

マルートは、「マリエとやま」、「とやマルシェ」とともに、富山中心市街地の一翼をなす新たなランドマークとして、全体の賑わいづくり、活性化に貢献します。駅周辺の様々な活動者や行事との連動はもちろん、路面電車沿いの様々なステイクホルダーとも連携し、乗って歩いて回って楽しい富山の街づくりに寄与します。

また、県都の玄関口にある施設の努めとして、富山の人々の活動の場、富山と県外の人をつなぐ協創の場を用意し、富山の未来に向けた「ハブ」のひとつとして役目を果たします。

【各フロアの構成】

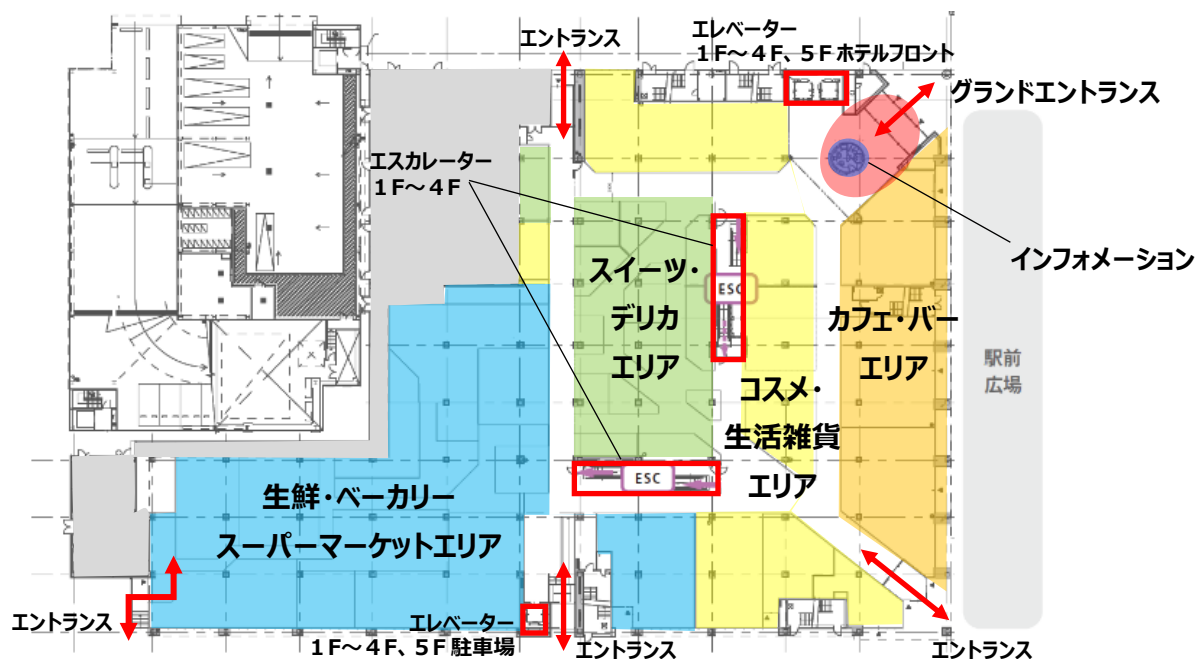
■ 1 F

1 F は富山の人々が誇る「食」の一大集積フロアとなります。西側は、生鮮食品と様々なスイーツ・総菜の集まる「市場」。東側は、北欧をイメージしたストリートに沿い、カフェやバーに加え、コスメや生花などの華やかな雑貨たちが彩りを添え、駅前広場とも一体となって賑わいを演出します。

1 F では、駅前広場沿いの南側と北側、中央通路の南側と北側、自転車置き場と直結する西側、計 5 つのエントランスでお客様を迎えし、さらに 2 機のエスカレーターと 3 機のエレベーターで上層の各フロア、すなわち「アパートメントの居室エリア」へといざないます。



□北側エスカレーターホールとスイーツ・デリカゾーン イメージ



ポイント① ちょっとじゃない「上質な日常」を提供する一大生鮮エリア。そして「海鮮処」が復活！

「有限会社シーフード北陸」（富山市）による岩瀬港産を中心とした富山湾内全ての朝どれ魚介類を取り揃える鮮魚店、業務用卸肉で県内最大級のシェアを誇る「グランマルシェタケダ株式会社」（富山市）による初の小売精肉店、全国有名百貨店に多数展開している「株式会社サン・フレッシュ」による総合青果店、世界の輸入食品を取り扱う「ジュピター」といった各分野のショップを集積した一大生鮮・グロサリーエリアを形成し、専門店ならではの「上質な日常」を提供します。鮮魚店には、地域の皆様からのご期待に応え、富山の新鮮な海鮮をその場で楽しめる飲食ブースを併設。魚の都＝富山の玄関口にふさわしい鮮魚の取り揃え、豊富なメニューで富山の皆様、そして県外からも多くの皆様をお迎えします。

ポイント② 日々の食卓を彩る、スイーツ・デリカ・テイクアウトのステージ

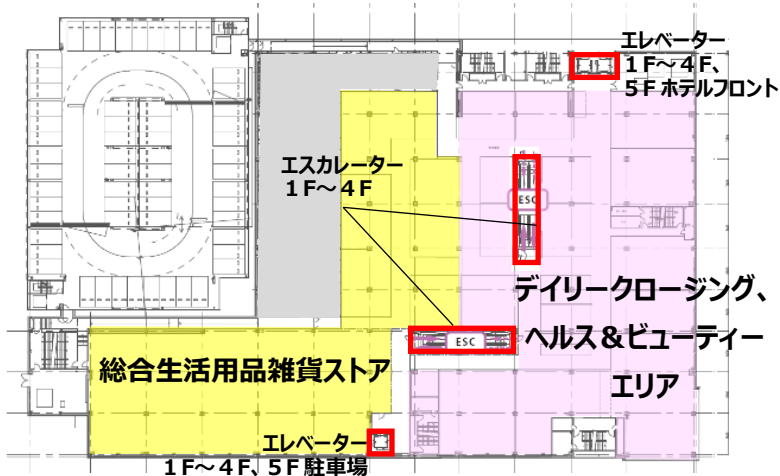
フロアの中央でひときり輝くのは、肉、魚、野菜の様々な本格惣菜やお弁当を、また、3 時のおやつ、食後のデザートやちょっとした手土産まで、幅広いラインナップを揃えたテイクアウトフードの集積エリアです。今日食べたい、今すぐ食べたい、富山の食卓に並べたい「おやつ」と「おかず」を重点的に揃えます。

ポイント③ テラス席を併設した、カフェやバーが駅前広場を彩ります

1 F 東側は、コペンハーゲンの歩行者天国「ストロイエ」をイメージした通りです。カフェ、バーや生活用品、ちょっと尖った雑貨などがストリート感覚で軒を連ねます。駅前広場沿いのカフェやバーでは外部にテラス席を設け、開放的な空間の中で富山の四季を感じながら思い思いの時を楽しんで頂けると共に、駅前広場におしゃれで賑わいある彩りを添えます。

■ 2 F

2F はアパートメントの「プライベートルーム」をイメージしたフロアです。毎日の暮らしを楽しく健やかに美しく過ごすために必要な、服や雑貨やコスメや食品などなど、お気に入りのモノたちに囲まれて暮らすように過ごす空間です。



□ 2F 北側エレベーターホール イメージ

ポイント① マリエの約 4 倍！無印良品が大幅スケールアップ

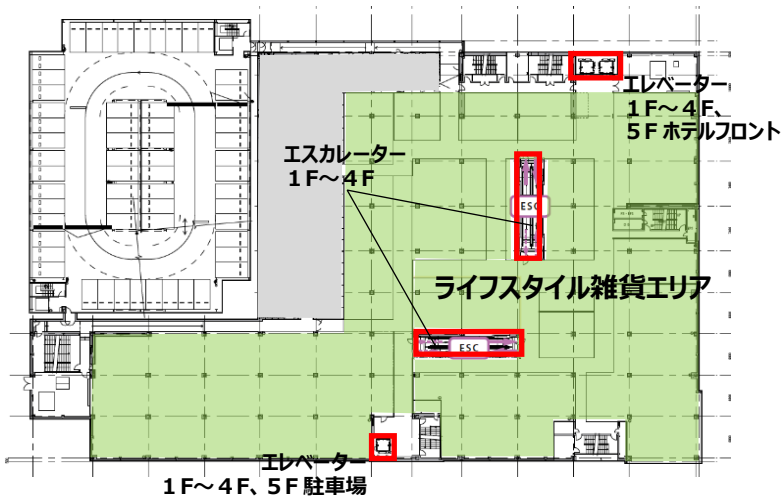
「マリエとやま」より移転する「無印良品」が大幅にスケールアップ。日用品・生活雑貨や家具、毎日の衣料品から食品まで、生活関連商品を潤沢に展開します。また、富山にお住まいの皆さまが交流できる場の提供や、定期的なイベント開催など、暮らしの全てに関わり、無印良品が提案する「感じ良い暮らし」をご提案します。

ポイント② ファッションアイテムからコスメまで、「私の」ヘルス&ビューティークローゼット

自分の部屋やクローゼットのアイテムを充実させるためのプライベートライフをサポートするエリアです。ドラッグストアやコスメ専門店、毎日の服や身の回りのアイテム、身近に置きたい雑貨たちなど、身体の内・外含めたヘルス&ビューティーと暮らしのスタイリングを総合的に提案し、「私の」暮らしの充実に貢献します。

■ 3 F

3F は家族や仲間が集まる「リビングルーム」をイメージしたフロアです。一人ひとりのライフスタイルと、時々让生活シーンに寄り添った様々なグッズやサービスを、北欧風のちょっと上質な空間の中で提案します。



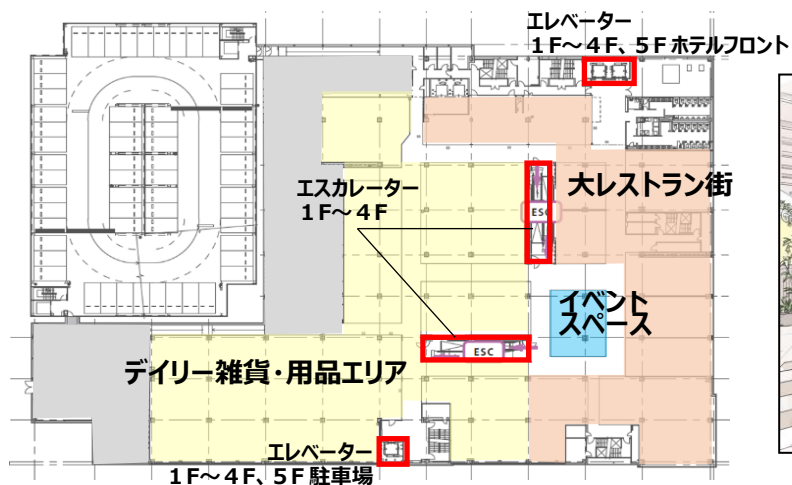
□ 3F 北側エレベーターホール イメージ

ポイント① おうち時間からアウトドアまで、暮らしを充実させるライフスタイル雑貨がいっぱい

一人ひとり、様々なシーンに合った「心地良い暮らし」を創り出すための、ハウスウェア、リビング・ダイニング用品、インテリア用品、アウトドア用品、バラエティ雑貨などが揃います。暮らしの中でのこだわり、親しい人との時間、自分みがきなど、「少し上質な生活」を充実させるための様々なアイテムを提案する、バラエティー色豊かなフロアです。

■ 4 F

4Fには高原の森と池を模したイベントスペースがあります。フロアの東側にはそれを囲むようにバラエティ豊かなレストラン街が、西側には毎日をもっと便利に、お得に暮らすための「お役立ち発見ゾーン」、デイリー雑貨・用品エリアが広がります。全体として自然を感じさせる装飾に囲まれた、高原とそれを望むコテージをイメージしたフロアです。



□ 4F イベントスペース イメージ

ポイント① 幅広いジャンルの大レストラン街が誕生します

和・洋・中、幅広いジャンルを集め、老若男女問わず様々なシーンで利用できる一大レストラン街です。緑に囲まれた空間の中で、時間を忘れてくつろげるように設えています。東面の窓からは、路面電車の行き交う駅前広場が見下ろせます。

ポイント② かゆいところに手が届く！総合書店と日用雑貨店

幅広いジャンルを展開する総合書店、日々のお役立ちアイテムを提案する雑貨店など、暮らしの隅々までサポートする利便性に溢れたエリアです。あると便利、新たな発見がある、そんな気付きを提供します。

【建物概要】

所在地	富山県富山市明輪町 1 番 231 号（住居表示）
敷地面積	約 7,930 ㎡（富山市用地 約 4,208 ㎡、西日本旅客鉄道株式会社用地 約 3,722 ㎡）
主要用途	商業施設、宿泊施設、立体駐車場
建物規模	鉄骨造、地上 12 階、延べ床面積 約 38,100 ㎡
建物設置者	J R 西日本不動産開発株式会社
施設運営者	＜商業施設・駐車場運営＞ 富山ターミナルビル株式会社 ＜宿泊施設運営＞ 株式会社ジェイアール西日本ホテル開発

【位置図】



【お問合せ窓口】

〒930-0003 富山市桜町一丁目 1 番 61 号
富山ターミナルビル株式会社 担当：黒瀬、渡邊
TEL：076-445-4511